

SDGs未来都市等進捗評価シート

広島県

2020年8月

SDGs未来都市計画名

広島県 SDGs未来都市計画

1. 全体計画

計画タイトル	広島県 SDGs 未来都市計画
2030年のあるべき姿	2016国際平和のための世界経済人会議におけるマーケティングの大家、フィリップ・コトラー教授の「愛を増やし、武器と憎しみの連鎖を減らす」の提言を踏まえ、平和で持続可能な国際社会に向けて、①民間セクターが公的課題の解決に貢献していくプロセスへの参画を促す取組、②若者の平和への参画を促す取組、③観光、留学生、空き家をキーワードとして、県下全域で、様々な持続可能な平和促進モデルを具体化する。 これらのモデルを広島が有する平和のシンボル性を活用し、県内・国内・国外に展開するとともに、平和の取組みが自律的に生み出される仕組みを構築する中で、紛争終結地域や途上国をはじめ世界の経済の安定・発展に寄与して、2030年のSDGs達成に貢献する。 併せて、これらの経験を踏まえ、2045年に向けた、「核兵器のない平和な国際社会」が新たな国連の目標に位置付けられている。

2030年の あるべき姿の 実現に向けた 優先的なゴール	経済	社会	環境
	ゴール16 ターゲット16.4 ゴール9 ターゲット9.5 ゴール17 ターゲット17.16 	ゴール17 ターゲット17.16 	ゴール17 ターゲット17.16 

優先的なゴール、 ターゲットに関する KPI	#	指標名 ※[]内はゴール・ターゲット番号	当初値	2030年	進捗状況や課題等（定性指標や補助指標等を含む）
	1	SDGsビジネス事業化企業	2018年7月	0件	2030年 20件
2	県及び県の関係機関で平和を学ぶ人数	2018年7月	4,864人(累計)	2030年 200,000人(累計)	進捗状況：28,585人 課題等：平和貢献人材育成プラットフォームのコンテンツや発信力等の更なる充実を図る。
3	エコツーリズムとピースツーリズムを融合した新たなツアーコースの数	2018年7月	0件	2030年 5件	進捗状況：2件 課題等：民間セクターとの連携を促進する。

行政体内部の推進体制	自治体SDGsの情報発信・普及啓発の取組状況・課題
<p>■各種計画への反映状況や課題 【広島県まち・ひと・しごと創生総合戦略】2030年のSDGs達成に貢献する取組として「国際平和のための世界経済人会議」などの取組について明記している。 また、今年度策定予定の新たな総合計画にSDGsに関して記載を予定している。</p> <p>■行政体内部の執行体制及び首長のリーダーシップ 総合政策や制度（総合戦略等）を担う企画部門とSDGsを総合的に推進する部門でSDGsの推進に向けて分担・連携して取り組んでいる。 また、知事や全庁の局長が参加する定例会議において状況を共有し、部局間横断の持続的な取組を行う。</p>	<p>■県内大学生にSDGsビジネスについての学習機会を提供し、当該大学生が県内企業の訪問・インタビューを実施して執筆した記事を取りまとめたSDGsビジネスセレクトブックを制作し、イベント等での配布、県ホームページ等に掲載することで情報発信した。 国際平和のための世界平和経済人会議では、広島が有する平和のシンボル性を活かし、政治、経済、国連・政府機関、大学、研究機関、NGO/NPO等の国内外の要人を招聘し、マルチステイクホルダーパートナーシップによって、SDGsを通じた国際平和への取組を加速するための方策について議論し、情報発信したほか、フランスの著名な経済学者のジャック・アタリ氏が主宰するポジティブ・エコノミー・フォーラムを同会議の開催に合わせ、アジアで初めて開催することにより、発信力が高まった。同会議では、ビジネスコンテストの開催やSDGsビジネスセレクトブックの掲載者の取組事例紹介、参画学生の意見発表を行うなど、ビジネスセクターの取組や成功事例を共有した。 また、SDGs都市間ネットワークの形成に向け、SDGsビジネスセレクトブック制作のために連携するNPO主催の中国5県のSDGs未来都市が集まるイベントに参加し、広島県の取組を共有、意見交換を行った。 このほか、県内外、国内外に向けて県内SDGsの取組状況や平和の取組の発信・共有、意識醸成を図るため独自のウェブサイトを構築し、賛同者の拡大を図っている。</p>
ステークホルダーとの連携	地方創生・地域活性化への貢献
<p>■地元企業が開催する勉強会で広島県の取組を紹介し、参画を促すなどの県内においてSDGsの周知・推進を行ったほか、SDGsビジネスセレクトブックの制作では、地元企業や大学、NPOなどの多様な主体を巻き込み、連携を深めた。このほか、「国際平和のための世界経済人会議」では、学生を含む若い世代が運営するNPO等の団体、高校生を交えたセッションを設定し、企画から当日の登壇までを協働して実施した。 国際機関の主催研修では広島県を訪問する研修生等に対し、広島の復興について講義を行うなど、連携を深めている。 また、県内自治体に対し、県及び他団体が開催するSDGsに関するフォーラムについての情報提供や参加を促し、県としての取組を発信するなど、SDGsに対する理解の促進やプラットフォームへの参画促進を行った。今後は、各自治体と連携をさらに深めていく。 国際連携として、海外の研究機関と連携し、ポストSDGsへ核兵器廃絶が位置づけられるために、核軍縮検証等を含む研究を進めたほか、国連軍縮局と連携して、軍縮とSDGsについて議論する対話イベントの企画・準備を行った。</p>	<p>■県内企業等のSDGsに係る先進的な取組・成功事例を発信し、共有することにより、SDGsに取り組むビジネスセクター等の発掘・創出を進め、これまであまり交わることのなかった他業種を含むビジネスセクター間の連携の強化を図られ、公的課題の解決に貢献してこたのける高い技術力や製品を有している企業等がその可能性に気づき、県内・国内に限らず世界へ展開する意欲の増進やイノベーションを生み出すための支援ができると考えられる。SDGsの推進をビジネスとして展開することができれば、県内企業の具体的利益をもたらす、地元経済の好循環が期待できる。 また、この発信・共有に係っては、大学などの教育機関やNPO等を巻き込むことで、様々な組織の参画、連携が促進されている。 この成果は、県内外へ発信され、新たなビジネスモデルの確立や県外、国外でのビジネス展開に繋がっていくと考えられる。 また、オンライン学習講座やグローバル未来塾、広島-ICANアカデミー及びひろしまジュニア国際フォーラム、ひろしまレクチャー等を開講し、国内外の若い世代に対して平和を学ぶ機会を提供したことで、次代の国際平和貢献人材の育成が進み、平和に係る発信力の増加や核兵器のない平和な世界の実現に向けた取組が国内外で加速していく。</p>

有識者からの取組に対する評価
<p>■SDGsの捉え方を中心とした産業から、平和だけでなく幅広い分野での産業の創出が必要である。 ■SDGsビジネス事業化とSDGsビジネス孵化支援の対象の定義を明確にする必要がある。 ■ゴール17に関わる具体的なビジネスとしてピースツーリズムは分かりやすいが、経済分野で他にはどのように展開できるのか、幅を広げることが期待される。他方、SDGs一般では拡散して比較優位が見えなくなる恐れがあると思料する。 ■近年関心を持たれている国際的ネットワークの中で議論することで国内における議論とは異なった観点で広島の平和における課題を位置づけられるとよいと思料する。 ■プラットフォーム構築の準備、アウトカムの取組の進捗を測るKPIの検討を期待する。 ■平和プラットフォームをビジネスにつなぐプロジェクトをあらかじめ代替的に用意する必要がある。 ■SDGsが多様なゴールに気づかせるツールであることに鑑み、KPIに記載のない内容のみならず、多様なゴールの重要性を各ステークホルダーに認識してもらうとともに、施策実施においても多様な観点からのチェックを行うことのできる仕組みを構築されることが望まれる。 ■分野を広げすぎると、広島の特徴がなくなってしまうため、エコツーリズムとピースツーリズム以外にも、平和と経済に関わる事業を考案する必要があり、広島大学での海外キャンパス受入のように、国際的なネットワークの構築を推進することも必要であると思料する。 ■広島大学の海外大学のキャンパス誘致などは、ビジネスとしての教育における興味深い展開例になる可能性があると思料する。 ■地元企業への取組も、計画に記載していただきたい。地域経済が発展していることで平和に繋がるといように、経済と平和の関係性を再構築する必要がある。 ■計画の記載内容が抽象的で曖昧なため、具体的な地域展開を表すように詳細に記載することが望まれる。</p>

1. 全体計画

自治体SDGsの 推進に資する 取組の 2020年のKPI	取組名	ターゲット	指標名	当初値	2019年	2020年	達成度 (%)	進捗状況や課題等 (定性指標や補助指標等を含む)
	① 平和の取組を生み出すプラットフォーム広島の構築	17.16 17.17	国際平和のための世界経済人会議の開催を契機とするプラットフォーム広島の構築	2018年度 0件	2019年度 0件	2020年 1件	0%	企業等のマルチステイクホルダーのプラットフォームへの参画に向け、国際平和のための世界経済人会議でセッションを実施した。
	② ビジネスセクターのSDGsへの参画の促進	9.5 17.16	SDGsビジネス孵化支援助成件数	2018年度 0件	2019年度 55件	2020年 20件	275%	県内企業等の取組をSDGsの観点から検討し、SDGs事業の発掘を行った。また、発掘された事業を冊子として取りまとめ周知した。引き続き、県内企業等のSDGsに係る取組を発掘し、プラットフォームへの参画を促す等、広島県内のビジネスセクターのSDGsへの参画を促進していく。
	③ 平和人材育成プラットフォームの構築	4.4	県及び県の関係機関で平和を学ぶ人数	2018年度 4,864人(累計)	2019年度 28,585人(累計)	2020年 13,920人(累計)	262%	グローバル未来塾及びオンライン学習講座、ひろしまレクチャー等により県内のみならず、国内外の若者へ平和学習機会を広く提供し、また、広島-ICANアカデミー及びひろしまジュニア国際フォーラムでは広島へ招聘することにより平和を発信できる国際平和貢献人材の育成を図った。